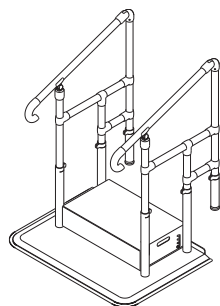


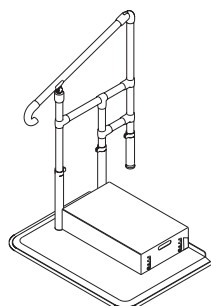
取扱説明書

あがりかまち用

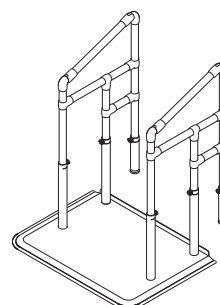
たちあっぷ®



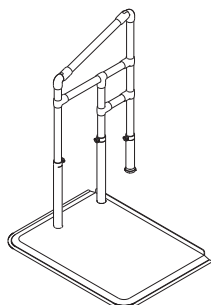
CKE-01



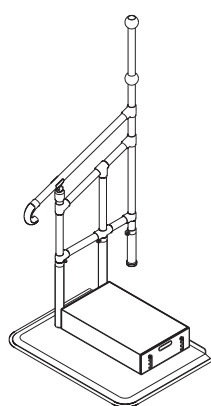
CKE-02



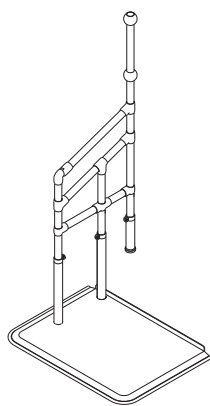
CKE-03



CKE-04



CKE-06



CKE-08

品番

CKE-01	CKE-01-1
CKE-02	CKE-02-1
CKE-03	
CKE-04	
CKE-05	CKE-05-1
CKE-05M	CKE-05M-1
CKE-06	CKE-06-1
CKE-07	CKE-07M
CKE-08	

目次

！ 安全に関する表示	2
1. 仕様	2
2. 使用上のご注意	3
3. ご使用方法	4
4. 設置上のご注意	4
5. 構成表	5
6. 各種部品表	6
7. 組立手順	8
8. ご使用前の確認	14
9. お手入れ方法	15

ご購入ありがとうございます

販売店様：この説明書は必ずお客様に説明してからお渡してください。

ご利用者様：使用前にこの説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	禁止	してはいけない内容です。
⚠ 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. 仕様

製品図				
品番	CKE-01 CKE-01-1(ステップ台無し)	CKE-02 CKE-02-1(ステップ台無し)	CKE-03	CKE-04
カラー	MB (メタリックブラウン)			
質量	39.7kg 32.8kg(ステップ台無し)	33.8kg 26.9kg(ステップ台無し)	31.8kg	26.4kg
使用者体重	100kg以下			
サイズ	 単位:mm		 単位:mm	
手すり間隔(a)	518mm (内寸)	—	518mm (内寸)	—
あがりかまち高さ(b)	段差 180mm ~ 360mm まで対応可能		段差 40mm ~ 180mm まで対応可能	
踏み台高さ(c)	ベース設置面より 120 mm ~ 180 mm まで 4段階で調整可能 (20 mm 間隔)		—	
手すり高さ(d)	あがりかまち床面より : 800 ~ 850mm 無段階で調整可能			

製品図						
品番	CKE-05 CKE-05-1(ステップ台無し)	CKE-05M CKE-05M-1(ステップ台無し)	CKE-06 CKE-06-1(ステップ台無し)	CKE-07	CKE-07M	CKE-08
カラー	MB (メタリックブラウン)					
質量	42.3kg 35.4kg(ステップ台無し)	41kg 34.1kg(ステップ台無し)	35.1kg 28.2kg(ステップ台無し)	34.2kg	33kg	27.6kg
使用者体重	100kg 以下					
サイズ	 単位:mm			 単位:mm		
手すり間隔 (a)	518mm (内寸)		—	518mm (内寸)		—
あがりかまち高さ (b)	段差 180mm ~ 360mm まで対応可能			段差 40mm ~ 180mm まで対応可能		
踏み台高さ (c)	ベース設置面より 120 mm ~ 180 mm まで 4段階で調整可能 (20 mm 間隔)			—		
手すり高さ (d)	あがりかまち床面より : 800 ~ 850 mm 無段階で調整可能 (あがりかまちたててすり上端までは 1280 ~ 1330 mm)					

2. 使用上のご注意

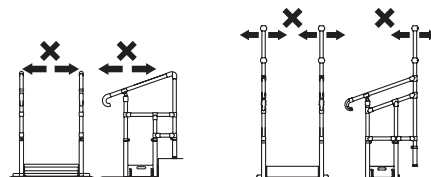
⚠ 警告

●歩行補助以外の用途では使用しない。

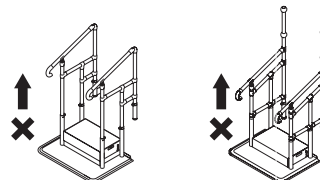
踏み台、いす、はしごなどの用途では使用しないでください。

●必要以上に水平方向に力を加えない。

手すりに力をかけた際に、ベースが持ち上がり転倒事故やケガの原因になります。手すりを持ち床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。



●手すり引抜き方向に力を加えない。



●子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。

事故のおそれがあります。手すりにぶら下がったり、手すりの上に乗ったりしないでください。

●車いすからの立ち上がりには使用しない。

移乗の際に転倒するおそれがあります。

●濡れた手、脚、靴底で使用しない。

滑って転倒するおそれがあります。

●ベースやステップ台、マット、手すりフレームが濡れた状態で使用しない。

滑って転倒するおそれがあります。布などで拭き取り、乾いた状態で使用してください。特にベースとステップ台に敷いてあるマットは濡れると滑りやすくなり危険です。マットが濡れた場合は、マットの表面・裏面ともに布などで拭いてからご使用ください。

●手すりフレームに頭や手、脚を入れない。

窒息や骨折のおそれがあります。

●予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使用しない。

利用者の心身の状態や利用環境により、手すりフレームのすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命に関わる重大事故につながるおそれがあります。予測できない行動をとられる利用者（認知症など）や、自力で危険な状態から回避することができない利用者（認知症など）につきましては、ご使用を控えてください。

●使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をする。

お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談することをお勧めします。

●固定式でないため設置後の安定性、利用者の状況を確認の上、使用する。

●利用者の健康状態や体調が変化した場合は直ちに使用を中止する。

ご使用を再開される場合は医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。

●あがりかまちの高さは、各品番の対応可能範囲内で使用する。

安定性が保てなく、製品が倒れる危険性があります。

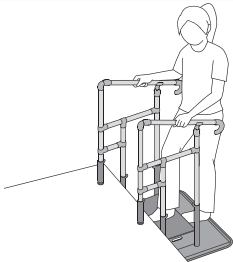
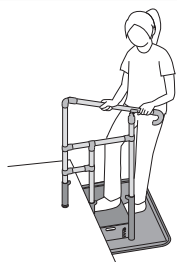
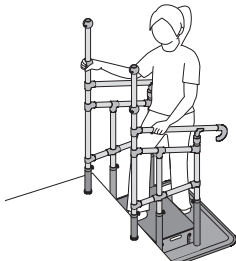
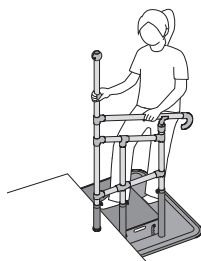
⚠ 注意

●2人以上同時に使用しない。

本製品は1人用です。

⚠ 注意	
! 必ず守る	●使用の際は介護者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認する。 利用者の健康状態や体調が変化した場合には、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。 ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。 ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。
	●利用者の身体状況により、ステップ台の使用を検討する。 CKE-01-1、CKE-02-1、CKE-05-1、CKE-05M-1、CKE-06-1をご使用の際、利用者によっては、あがりかまちにつまずいて転倒するおそれがありますので、ステップ台を設置することをご検討ください。
	●ベースの縁ゴムには厚みがあるため、すり足など使用上支障のある方は注意する。
	●ベース・ステップ台は必ずマットを貼り付けた状態で使用する。 使用中にマットがめくれたり、たるみができた場合は整えてから使用する。 マットを使用しないと滑って転倒するおそれがあります。 また、マットにめくれやたるみがあるとつまずいて転倒するおそれがあります。
	●移動させる場合は、ベースもしくはスタンド部を持って移動させる。 手すりを持ち上げるとねじのゆるみなどでベースが落下し、ケガをするおそれがあります。 また、引きずると床面を傷つけたり、縁ゴムの剥がれや破損のおそれがあります。
	●製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。 正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

3. ご使用方法

(例)CKE-01 の場合 ●両手すりの場合、両手で両側の手すりをそれぞれ握って昇降してください。 	(例)CKE-02 の場合 ●片手すりの場合、手すり側に身体を向け、両手で握って昇降してください。 
(例)CKE-05 の場合 ●両手すりの場合、両手で両側の手すりをそれぞれ握って昇降してください。 	(例)CKE-06 の場合 ●片手すりの場合、手すり側に身体を向け、両手で握って昇降してください。 

4. 設置上のご注意

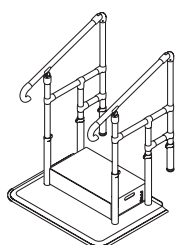
⚠ 警告	
⊘ 禁止	●弊社製品と他社製品を組み合わせない。 破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
	●改造・加工は絶対に行わない。 事故の原因になります。
! 必ず守る	●設置後、ガタつきやねじ、ボルトのゆるみ・締め忘れがないことを、必ず確認する。
⚠ 注意	
⊘ 禁止	●指定締め付けトルク値以上で締め付けない。 破損するおそれがあります。（「7. 組立手順」で示すトルク値に従って締め付けてください。）
	●電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 （ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。）

⚠ 注意

 禁止	●屋外や直射日光の当たる場所では使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。 また、60℃を超える環境で使用するとマットが収縮し、変形するおそれがあります。
	●火のそば・熱器具（ストーブ等）の近くでは使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。
	●水やお湯に濡れる場所では使用しない。 変質や縁ゴムの剥がれなど破損するおそれがあります。
 必ず守る	●屋内玄関で使用する。
	●平らで水平な場所で使用する。
	●組み立て、高さ調整などの設置は納入業者が行う。
	●手すりフレームは、ベースから外した状態では強度がないので、衝撃や荷重による破損に十分注意する。 輸送・保管する場合は、納入時の梱包用段ボールを使用して管理することをお勧めします。
	●ベースは重いので注意する。 「かまちベース」は 20kg 以上の重量物です。取り扱いには十分注意してください。
	●ベースと手すりは下記の構成表に則った組み合わせで使用する。
	●クッションフロア材（塩化ビニル製）などの上に長時間設置するとクッションフロア材にへこみや色移りする場合がありますので、注意する。
	●定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないことを確認する。

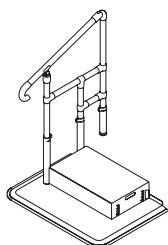
5. 構成表

※部品が揃っていない、または破損している場合は直ちにお買い上げの販売店へご連絡ください。



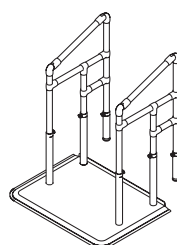
CKE-01/CKE-01-1

名称	数量
かまち手すり A	2
かまちベース	1
かまちステップ台※	1



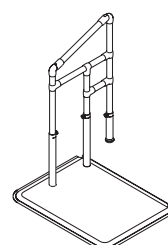
CKE-02/CKE-02-1

名称	数量
かまち手すり A	1
かまちベース	1
かまちステップ台※	1



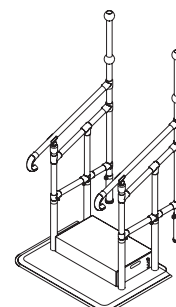
CKE-03

名称	数量
かまち手すり B	2
かまちベース	1



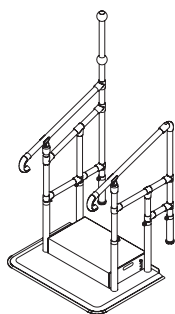
CKE-04

名称	数量
かまち手すり B	1
かまちベース	1



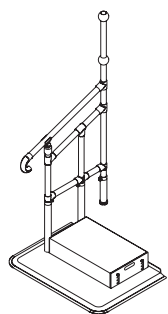
CKE-05/CKE-05-1

名称	数量
かまちたてすり C	2
かまちベース	1
かまちステップ台※	1



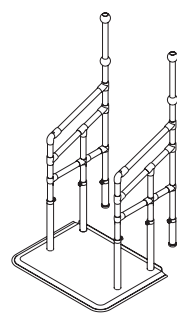
CKE-05M/CKE-05M-1

名称	数量
かまちたてすり C	1
かまち手すり A	1
かまちベース	1
かまちステップ台※	1



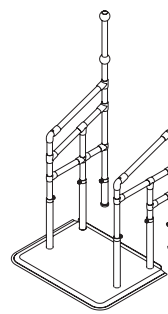
CKE-06/CKE-06-1

名称	数量
かまちたてすり C	1
かまちベース	1
かまちステップ台※	1



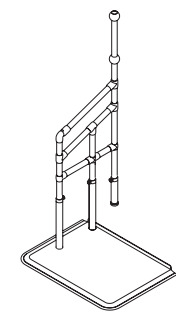
CKE-07

名称	数量
かまちたてすり D	2
かまちベース	1



CKE-07M

名称	数量
かまちたてすり D	1
かまち手すり B	1
かまちベース	1

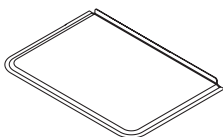
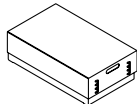
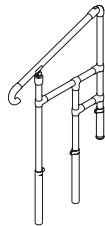
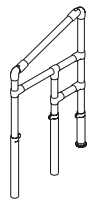
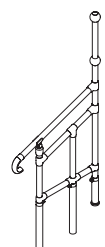
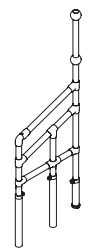


CKE-08

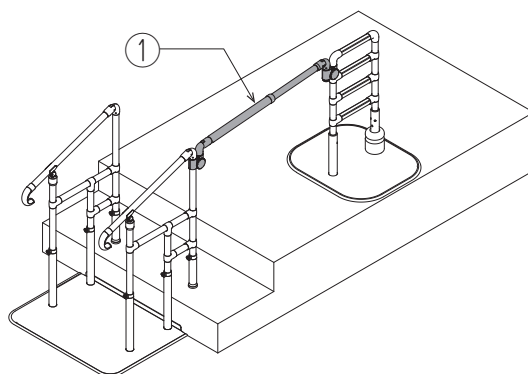
名称	数量
かまちたてすり D	1
かまちベース	1

※ CKE-01-1、CKE-02-1、CKE-05-1、CKE-05M-1、CKE-06-1 にはステップ台は付きません。

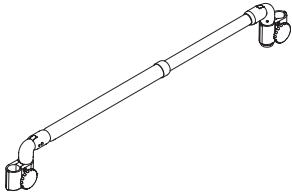
6. 各種部品表

名 称	部 品 図	部 品	材 質	数 量
かまちベース		ベース本体 (マット付き)	ステンレス、樹脂 (マット)	1
		六角スパナ (対辺 17mm)	鉄	1
		六角レンチ (対辺 5mm)	鉄	1
		六角穴付き止めねじ (M10 × 14mm)	ステンレス + 樹脂	2
		取扱説明書	紙	1
かまちステップ台		箱部 (マット付き)	鉄、樹脂 (マット)	1
		基部	鉄	1
		なべ組ねじ (M5 × 12mm)	ステンレス	4
		六角穴付きボルト SUS (M6 × 12mm)	ステンレス	4
かまち手すり A (CKE-01、01-1、02、 02-1、05M、05M-1 用)		手すりフレーム A 本体	パイプ：プラスチック被覆スチールパイプ ジョイント：プラスチック 金属ジョイント：アルミ合金、亜鉛合金	1
		スタンド L	ステンレス	2
		スタンド S	ステンレス	1
		六角穴付きボルト (M6 × 12mm)	鉄	3
		超低頭ねじ (M10 × 20mm)	ステンレス	4
		アジャスター (M10 × 25mm)	ステンレス、樹脂	1
かまち手すり B (CKE-03、04、07M 用)		手すりフレーム B 本体	パイプ：プラスチック被覆スチールパイプ ジョイント：プラスチック 金属ジョイント：アルミ合金	1
		スタンド L	ステンレス	2
		スタンド S	ステンレス	1
		六角穴付きボルト (M6 × 12mm)	鉄	3
		超低頭ねじ (M10 × 20mm)	ステンレス	4
		アジャスター (M10 × 25mm)	ステンレス、樹脂	1
かまちたてすり C (CKE-05、05-1、05M、 05M-1、06、06-1 用)		たてすりフレーム F 本体	パイプ：プラスチック被覆スチールパイプ 金属ジョイント：アルミ合金、亜鉛合金 φ32 セーフティグリップ：樹脂	1
		スタンド L	ステンレス	2
		スタンド S	ステンレス	1
		六角穴付きボルト (M6 × 12mm)	鉄	3
		超低頭ねじ (M10 × 20mm)	ステンレス	4
		アジャスター (M10 × 25mm)	ステンレス、樹脂	1
かまちたてすり D (CKE-07、07M、08 用)		たてすりフレーム G 本体	パイプ：プラスチック被覆スチールパイプ 金属ジョイント：アルミ合金 φ32 セーフティグリップ：樹脂	1
		スタンド L	ステンレス	2
		スタンド S	ステンレス	1
		六角穴付きボルト (M6 × 12mm)	鉄	3
		超低頭ねじ (M10 × 20mm)	ステンレス	4
		アジャスター (M10 × 25mm)	ステンレス、樹脂	1

※オプション品のご案内



【たちあっぱ 1 台を連結した場合】

	名 称	図	説 明	取付可能製品
①	伸縮つながるくん		手すりフレームを連結して、動線を確認できます。	CKE-01 / CKE-01-1 CKE-02 / CKE-02-1 CKE-03 CKE-04 CKE-05 / CKE-05-1 CKE-05M/ CKE-05M-1 CKE-06 / CKE-06-1 CKE-07 / CKE-07M CKE-08

◇オプション品の詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意	
 必ず守る	● オプション品を取り付けて使用する場合は、オプション品の取扱説明書も合わせて確認する。

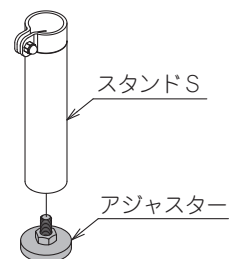
7. 組立手順

※組み立て、高さ調節などの設置は納入業者が行ってください。

7-1. あがりかまち手すり、スタンドSの取付け

7-1-1 スタンドSにアジャスターを取り付けます。

7-1-1 図



7-1-2 あがりかまち床面に設置する手すりパイプにスタンドSを差し込み、手すり高さを調整します。

●手すりフレーム A,B の場合

⚠ 注意

- 手すり高さは800mm～850mm以内とする。
- 締付け部を内側に向ける。

800～850mm

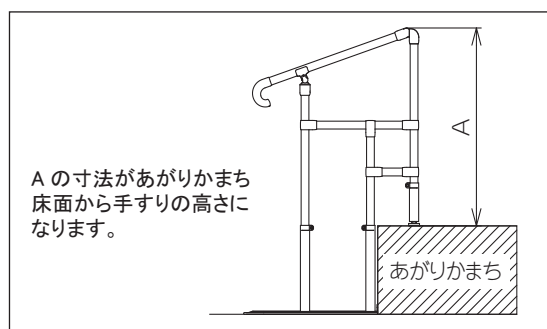
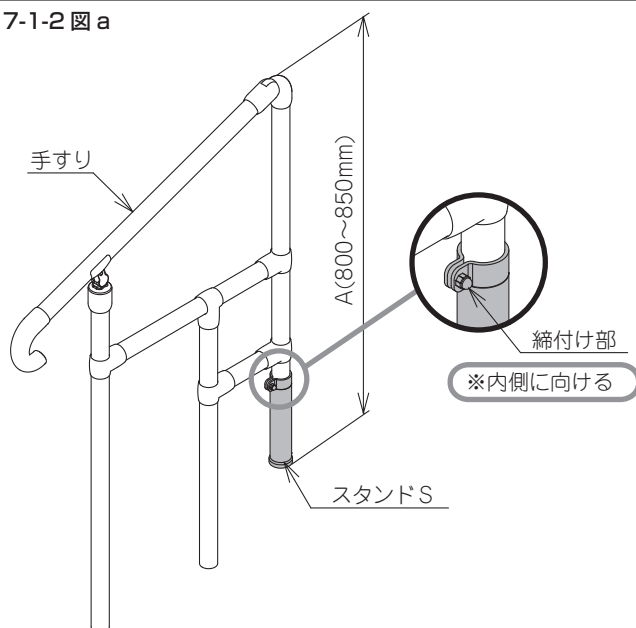
スタンドS

必ず守る

- 目印ラインがスタンドより出ないようにする。

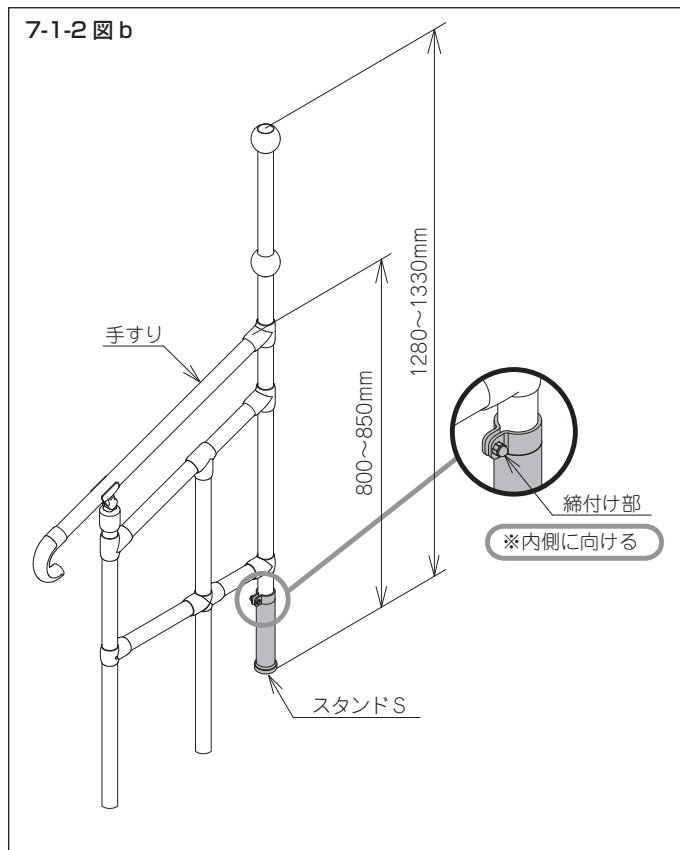
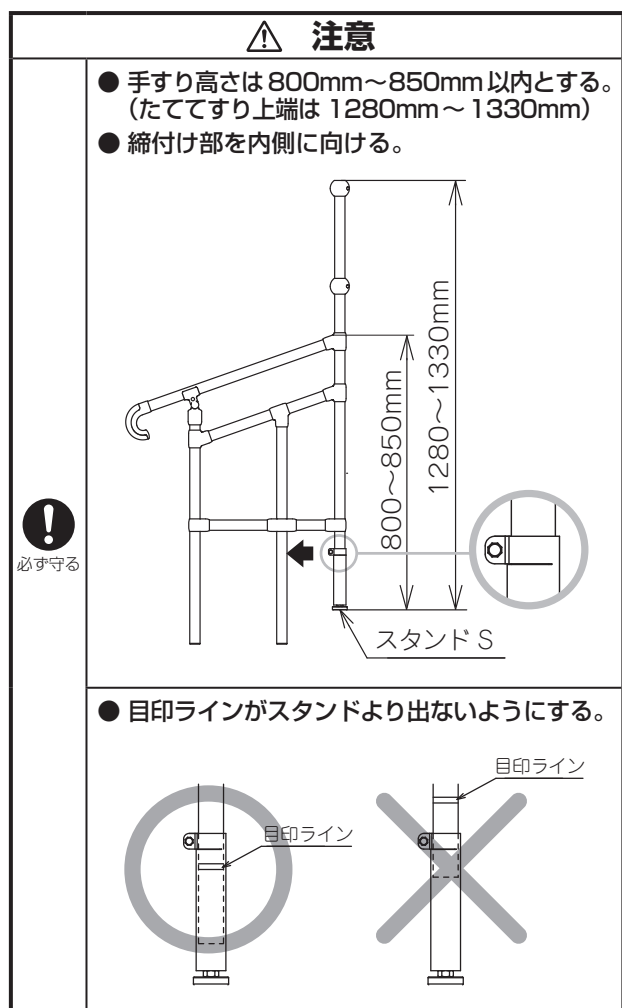
目印ライン

7-1-2 図 a

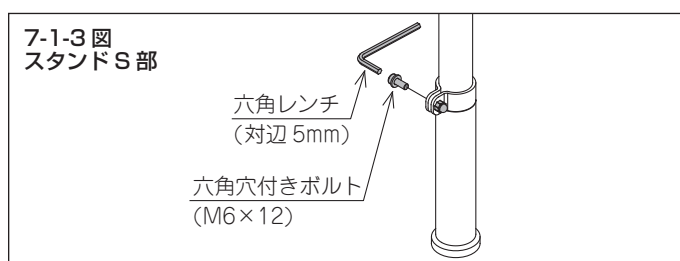


A の寸法があがりかまち床面から手すりの高さになります。

● たててすりフレーム F,G の場合



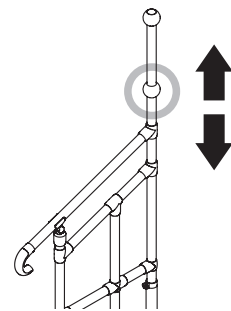
7-1-3 六角レンチ (対辺 5mm) で六角穴付きボルト (M6 × 12) を締め付けます。
締付けトルクは、 $5.2\text{N} \cdot \text{m}$ [53kgf · cm] です。



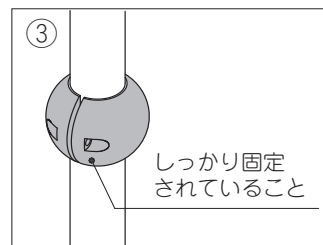
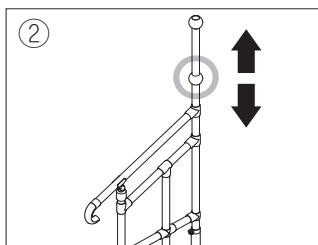
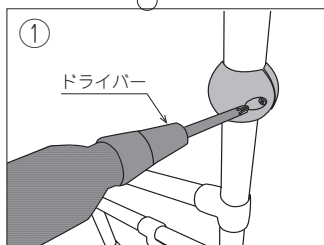
7-2. はたててすりの場合のみ必要な手順です。

7-2. セーフティグリップの調整

φ32 セーフティグリップの位置を利用者の使いやすい位置に合わせます。



- ① ⊕ドライバー（# 2）を使用しゆるめる。
- ② φ32 セーフティグリップの位置を利用者に合わせる。
- ③ ⊕ドライバーを使用し締め付ける。
締め付け後、しっかり固定されていることを確認する。



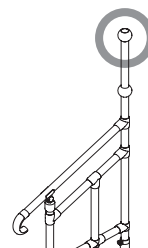
⚠ 注意



禁止

● 上端のセーフティグリップの位置は変更しない。

上端のセーフティグリップは、パイプ上端の保護用です。
頭などをぶつけた場合の衝撃を和らげ、ケガを防止します。



必ず守る

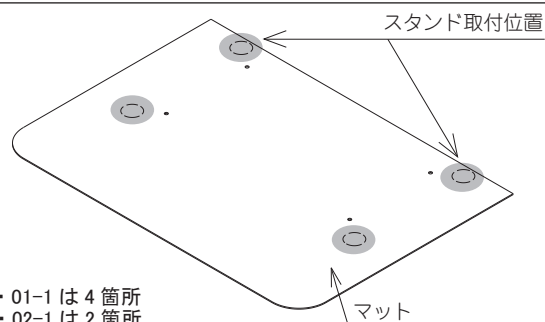
● セーフティグリップがしっかり固定されている事を確認してから使用する。

固定が不十分だと、事故やケガにつながるおそれがあります。

7-3. スタンドLの取付け

7-3-1 ベースマットのスタンド取付位置をマシン目に沿って
カッターで切り取り、穴を開けます。

7-3-1 図



※ CKE-01・01-1 は 4 箇所
CKE-02・02-1 は 2 箇所
CKE-03・05・05M・05-1・05M-1・07・07M は 4 箇所
CKE-04・06・06-1・08 は 2 箇所穴を開けます。

マット

7-3-2 六角レンチ（対辺 5mm）で超低頭ねじ（M10 × 20）
を締め付けます。

締め付けトルクは、 $11.76\text{N} \cdot \text{m}$ { $120\text{kgf} \cdot \text{cm}$ } です。

⚠ 注意



禁止

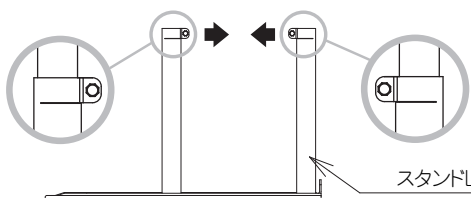
● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。

過剰トルクで締め付けるとねじやボルトの破損
の原因になります。（ねじやボルトの締め付け摩擦
熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しがで
きなくなる可能性があります。）

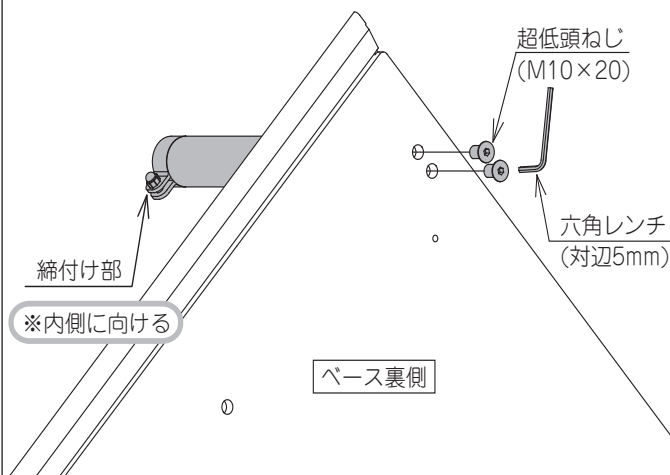


必ず守る

● 締め付け部を内側に向ける。



7-3-2 図



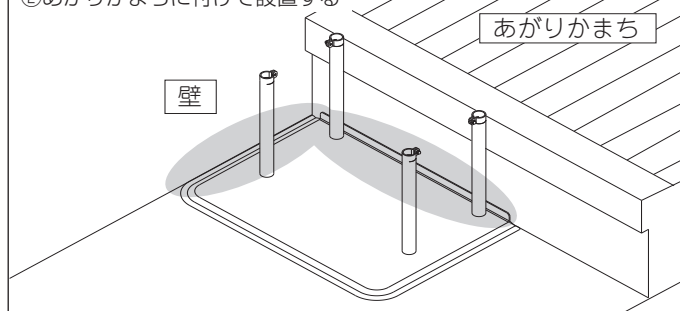
7-4. ベースの据え付け

7-4-1 スタンドLを取り付けたベースを土間に設置してください。

7-4-1 図

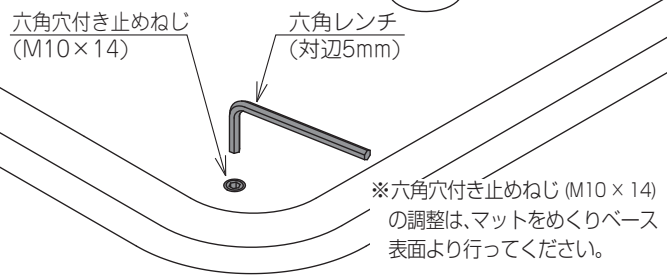
下記①②に注意してベースを設置するとより安全にご使用いただけます。

- ①壁側に付けて設置する
- ②あがりかまちに付けて設置する



7-4-2 マットをめくりベース上面にある六角穴付き止めねじ (M10×14) をゆるめ、ベースにガタつきがないように調整してください。

7-4-2 図



⚠ 注意



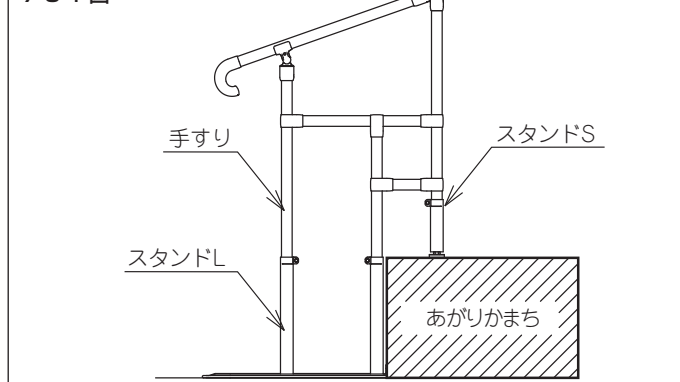
必ず守る

- 調整は先端が土間に軽く当たる程度とし、ベースが浮き上がらないようにする。

7-5. 手すりの取付け

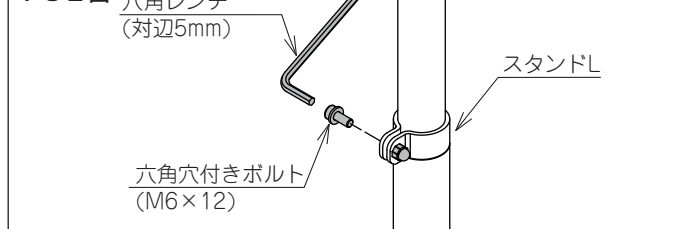
7-5-1 7-1 で組み付けた手すりをスタンドLに差し込みます。スタンドSのアジャスターがあがりかまち床面に着くまで差し込んでください。
手すりが入りにくい場合は、一度ベース裏の超低頭ねじ (M10×20) をゆるめてから、手すりを差し込んでください。(手すりを差し込んだ後は、必ずまた締め付けてください。)

7-5-1 図



7-5-2 六角レンチ (対辺 5mm) で六角穴付きボルト (M6×12) を締め付けます。
締め付けトルクは、 $5.2\text{N} \cdot \text{m}$ (53kgf・cm) です。

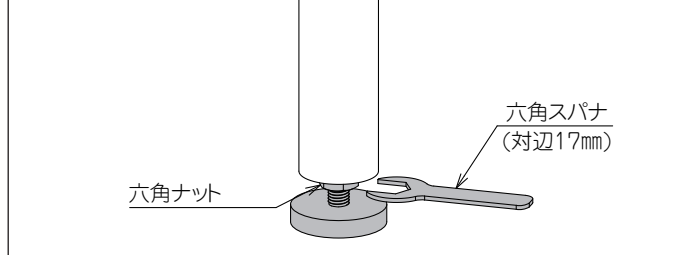
7-5-2 図



7-6. アジャスターの固定

スタンドSのアジャスターを床面に軽く押さえつけるように回して伸ばし、六角スパナ (対辺 17mm) で六角ナットをスタンドSの底面に締め付けて固定してください。

7-6 図

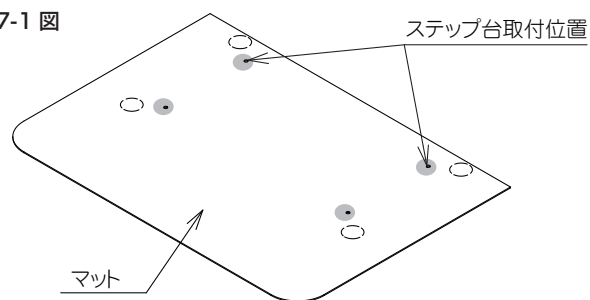


7-7、7-8 はステップ台を取り付ける場合にのみ必要な作業です。

7-7. ステップ台基部の取付け

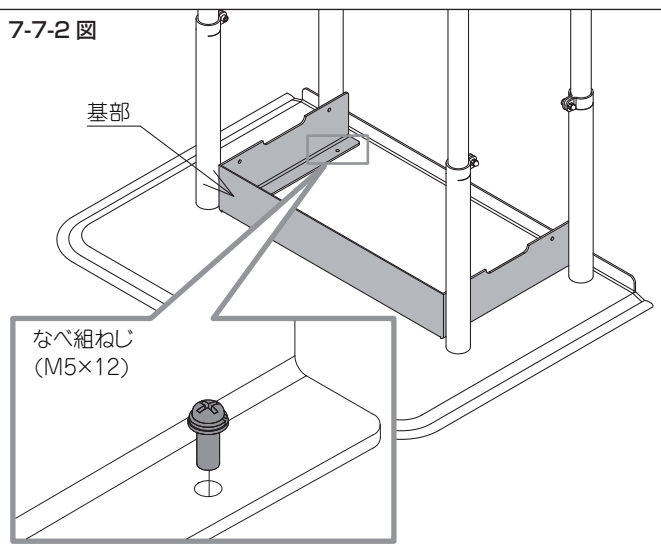
7-7-1 ベースマットのステップ台取付位置をマシン目に沿ってカッターで切り取り、穴を開けます。

7-7-1 図



7-7-2 図のように基部を置き、⊕ドライバーでなべ組ねじ (M5 × 12) を締め付けてください。
締め付けトルクは $3.0\text{N} \cdot \text{m}$ { $30.6\text{kgf} \cdot \text{cm}$ } です。

7-7-2 図



⚠ 注意



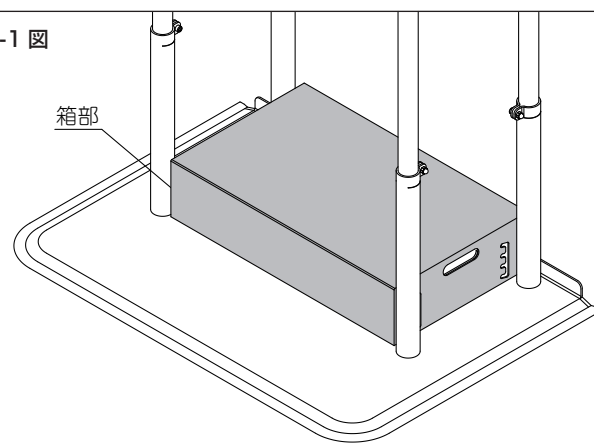
禁止

● 電動工具 (電動ドライバー等) を使用しない。
過剰トルクで締め付けるとねじやボルトの破損の原因になります。(ねじやボルトの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)

7-8. ステップ台箱部の取付け

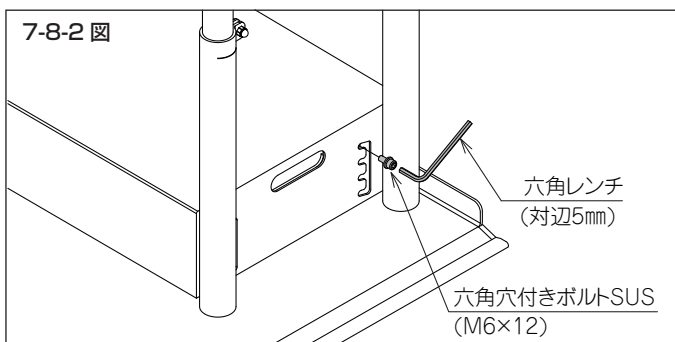
7-8-1 図のような向きで箱部を基部にかぶせてください。

7-8-1 図

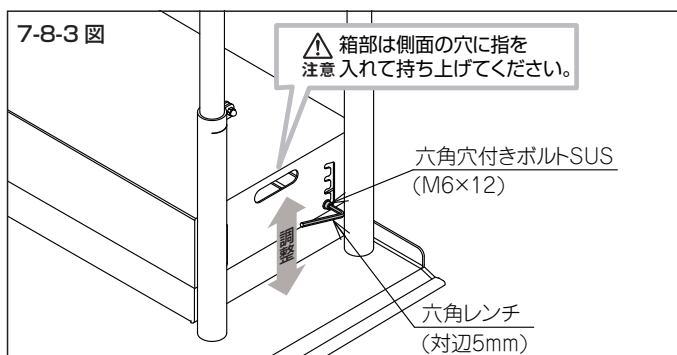


7-8-2 箱部の側面へ六角穴付きボルト SUS (M6 × 12) を取り付け、ボルトを半分程度まで回し込んでください。

7-8-2 図



7-8-3 あがりかまち床面とベース設置面との中間程度になるように箱部の高さを調整し、六角レンチ (対辺 5mm) で六角穴付きボルト SUS(M6 × 12) を締め付けてください。



7-9. 最終確認

組み立てて取り付けた全てのねじの締め付けを確認し、また手すりフレームのガタつきがないことをよく確認してください。

⚠ 注意	
! 必ず守る	● 組み立て後、ガタつきやねじ、ボルトのゆるみ・締め忘れがことを必ず確認する。 事故やケガの原因になります。

8. ご使用前の確認

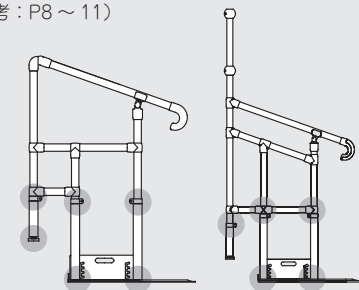
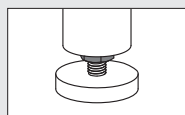
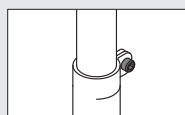
！ 設置完了後、また定期点検時に、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないか確認してください。

■ 確認チェックは下記番号順に進めてください。

①

手すりフレームにガタつきはありませんか？
→ガタつきや異音がある場合は、ねじをしっかりと締め付けてください。（参考：P8～11）

【ねじ締め付け該当箇所】



チェック✓

CKE-01

かまち手すり A

②

②の確認へ

手すりや金属ジョイントにガタつきはありませんか？

チェック✓

→ガタつきや異常がある場合はご使用を中止して、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。



③の確認へ

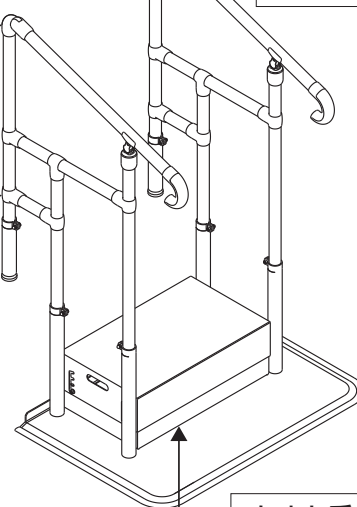
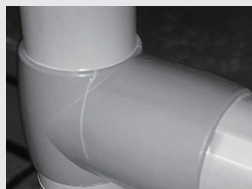
③

プラスチックジョイント部分に亀裂（白い筋）などの異常はありませんか？

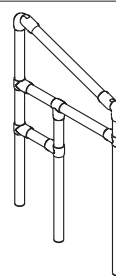
チェック✓

→異常があった場合はご使用を中止して、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

【白い亀裂】



かまち手すり B



③ かまちたててすりC/Dの場合

φ32セーフティグリップにガタつきはありませんか？

チェック✓

→ガタつきがある場合は、【7-2】の作業を行ってください。

かまちたててすり C

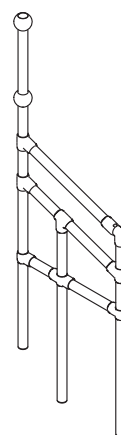
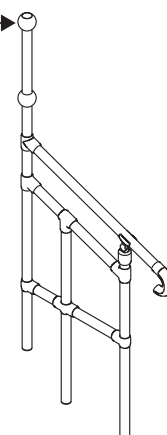
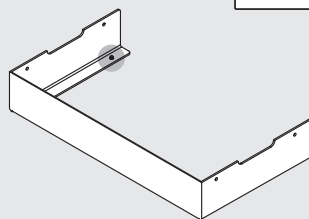
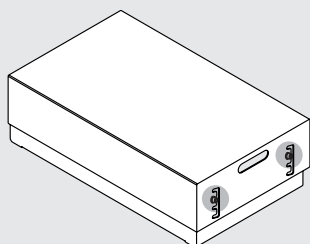
かまちたててすり D

ステップ台にガタつきはありませんか？
(CKE-01、CKE-02、CKE-05、CKE-05M、CKE-06のみ)

チェック✓

→ガタつきや異音がある場合は、ねじをしっかりと締め付けてください。
(参考：P12～13)

【ねじ締め付け該当箇所】



上記の確認をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

9. お手入れ方法

9-1. 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。

⚠ 警告	
 禁止	● ベースやステップ台、マット、手すりフレームが濡れた状態で使用しない。 滑って転倒するおそれがあります。布などで拭き取り、乾いた状態で使用してください。特にベースとステップ台に敷いてあるマットは濡れると滑りやすくなり危険です。マットが濡れた場合は、マットの表面・裏面ともに布で拭いてからご使用ください。

⚠ 注意	
 禁止	● 酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。必ず中性洗剤を使用してください。
	● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
	● たわしや磨き粉などで磨かない。 傷がつくおそれがあります。
 必ず守る	● 直接水をかけて洗わない。 腐食や変質の原因になります。
	● 直射日光は避けて、陰干しする。 直射日光の当たる場所や炎天下の車内などに長時間放置すると、加熱によりマットが収縮するおそれがあります。

9-2. 点検

- 定期的に点検を行い、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・マットのめくれ・縁ゴムの剥がれや破損・その他異常がないことを確認してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	● 定期的にガタつき・ねじやボルトのゆるみ・部品の破損・マットのめくれ・縁ゴムの剥がれや破損・その他異常がないことを確認する。 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

9-3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
注：60℃を超える熱が加わるとマットが収縮する場合がありますので、消毒時の取り扱い（消毒方法等）にはご注意ください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。
(参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら 120倍～300倍程度に希釈)

⚠ 注意	
 禁止	● オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
 必ず守る	● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。

9-4. 保管方法

- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管してください。
- ベースは平置きで保管してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	● 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管すると、変形、結合部の外れの原因になります。
	● ベースは平置きで保管する。 立てかけて保管すると、縁ゴムに負荷がかかり剥がれやすくなります。

9-5. 長期使用について（手すりフレーム）

- 経年劣化により安全上支障が生じるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月日を手すりフレームに表示しております。これは、使用開始時期とは異なります。
- 安全使用期間とは、たちあがびシリーズを一般家庭にてご使用いただき、適正な取扱い・維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、製造年月日から想定される期間です。
これは、無償保証期間とは異なります。
- 一般家庭以外の不特定多数の方が使用される施設や病院などで使用される場合は、安全使用期間よりも劣化が早まるおそれがあります。
- 経年劣化とは、長期間にわたる使用や処置の他、雨風・湿気・温度変化・日照などによる品質の低下からくる劣化のことをいいます。



想定上の安全使用期間 8 年

安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化によるケガなどの事故に至るおそれがあります。

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

■ 北 海 道 支 店 福祉介護課
〒072-0007 北海道美幌市東 6 条北 8-2-1
TEL 0126-63-4285

■ 神 奈 川 支 店 福祉介護課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463-81-4315

■ 九 州 支 店 福祉介護課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948-72-0310

■ 仙 台 支 店 福祉介護課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022-382-2145

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護課
〒484-0963 愛知県犬山市宇鶴池 48-2
TEL 0568-67-0111

介護支援ページ
kaigo-web
<https://www.kaigo-web.info/>



■ 関 東 支 店 福祉介護課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276-38-4562

■ 大 阪 支 店 福祉介護課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072-672-8440

■ 東 京 支 店 福祉介護課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04-2944-7113

■ 広 島 支 店 福祉介護課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829-36-1111

11032602

DW-139-12